

将来人口の求め方

基本的事項

1. 現人口（将来人口の元）は住民基本台帳を使用する。
2. トレンド法を用いて町村ごとの将来人口（仮）を算定する。
3. 町村それぞれの状況に応じて、将来人口を補正する。
 - ・避難区域、解除状況
 - ・帰還希望アンケート結果
 - ・各町村の復興再生計画より整備計画を参照
4. 将来人口まとめ
5. 将来可燃性ごみ量

1. 現人口（住民基本台帳記載人口）

		広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	計
住 基 人 口	H23 年度	5,277	7,674	14,608	2,875	10,962	6,580	19,921	1,529	69,426
	H24 年度	5,208	7,613	14,489	2,815	10,942	6,523	19,680	1,504	68,774
	H25 年度	5,151	7,523	14,202	2,750	10,849	6,418	19,275	1,509	67,677
	H26 年度	5,118	7,415	14,012	2,732	10,769	6,293	18,982	1,489	66,810
	H27 年度	5,068	7,357	13,795	2,768	10,769	6,207	18,644	1,471	66,079
	H28 年度	4,935	7,215	13,437	2,729	10,665	6,142	18,309	1,437	64,869
	H29 年度	4,820	7,047	13,172	2,707	10,533	6,042	17,896	1,437	63,654
	H30 年度	4,735	6,908	12,972	2,639	10,341	5,980	17,434	1,410	62,419
	R1 年度	4,755	6,784	12,645	2,560	10,296	5,860	16,978	1,406	61,284
	R2 年度	4,698	6,765	12,289	2,517	10,214	5,730	16,536	1,370	60,119

※赤字は各年1月の数値。

2. トレンド法を用いて将来人口を推定する

※「ごみ処理基本計画策定指針」（環境局 廃棄物対策課 平成 25 年 6 月）に記載。

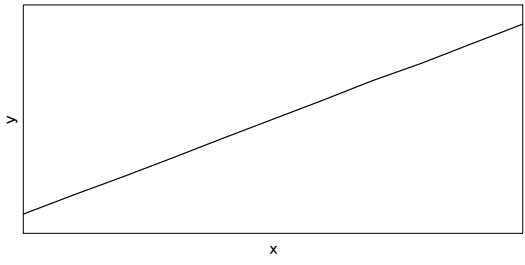
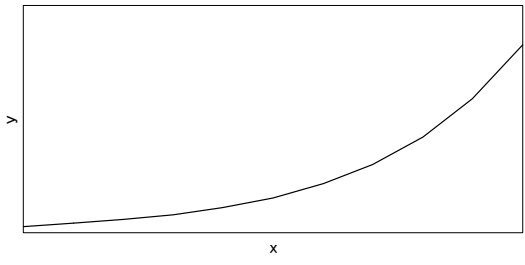
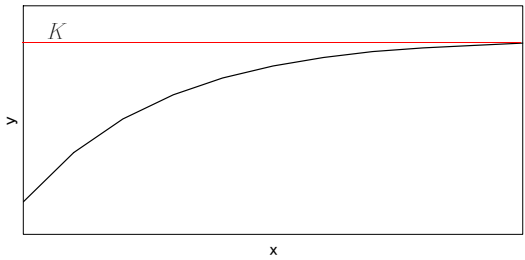
2.1 トレンド方法の考えかた

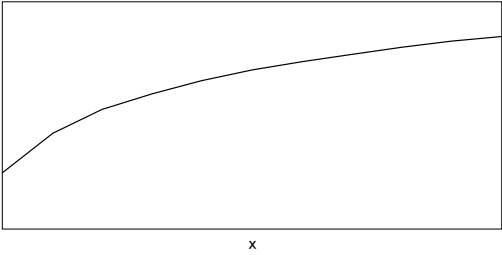
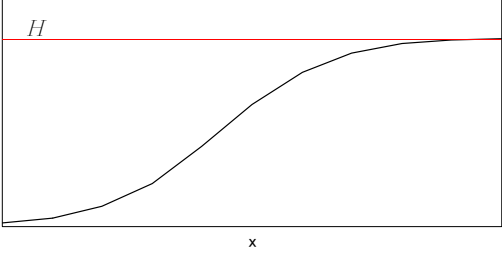
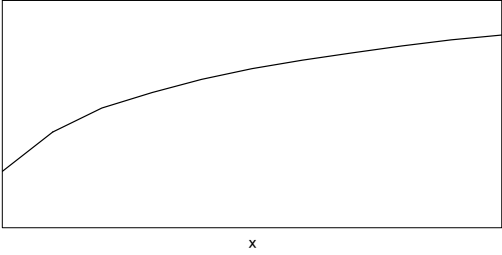
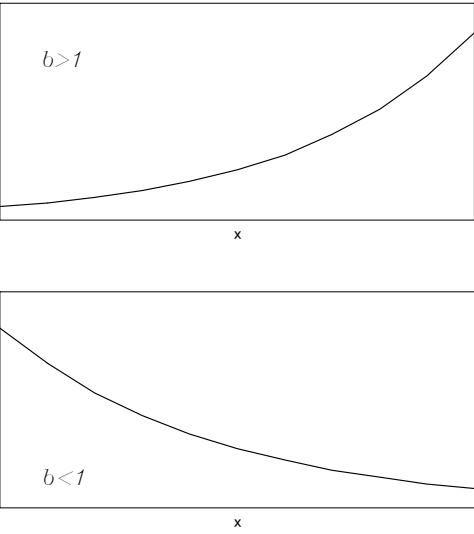
- ①最近 10 年程度の人口の実績を参照し、どのようなトレンドで人口推移しているかを確認する。
- ②最近の 10 年間のデータを基に数種類（今回は 7 種類）回帰式を作成する。
- ③数種類の回帰式から、最もふさわしい回帰式を選択する。
回帰式選択には以下の点を考慮する。
 - ・表中 R2 は相関係数を表し、実績と回帰式が近ければ 1.0 に近づく数字となる。相関係数 1.0 に近いもの、また、グラフの形状を確認し、0 やマイナスなど異常な数字を示し、現実では起きにくいと思われる数字を示しているものを除外する。

[参考資料] 推計式の特徴

将来推計に使用している回帰式の特徴をまとめた。

x	: 対象年度
y	: 人口
a, b, c, r	: 推計パラメータ
K, H	: 定数
R, R2	: 相関係数

推計式	式の概要	グラフ
<p>一次傾向線</p> <p>$y=ax+b$</p>	<p>直線的に増加（減少）する。推定式の傾きや切片については回帰式（最小二乗法）にて算定する。</p>	
<p>等比級数式</p> <p>$y=y_0(1+r)^x$</p>	<p>一定の割合で増加（減少）する曲線。係数は各年毎の増加割合（減少割合）の平均から求める。</p>	
<p>修正指数曲線</p> <p>$y=K-ab^x$</p>	<p>一定の割合で定数 K に近づき、無限年後に K に達する曲線。飽和状態に近い都市に多く適応される。係数 b が 1 以上になると、定数 K に近づかないため適応範囲外となる。</p> <p>・ 適応範囲 : $0 < b < 1$</p>	

推計式	式の概要	グラフ
<p>対数回帰曲線</p> $y = a + b \ln(x+1)$	<p>経年的に増加（減少）するが、増加量（減少量）は、徐々に少なくなっていく。無限年後にも飽和に達しない曲線。</p>	
<p>ロジスティック</p> $y = K / (1 + e^{-(a-bx)})$	<p>初期の段階では、傾きが大きくなっていき、変極点で傾きが最大になり、その後は傾きが小さくなり最終的に定数 K に近づいていく曲線。 新興都市の人口推定などに用いられる。ただし、減少傾向の場合は適応できない。</p> <p>適応範囲：$a、b、H > 0$</p>	
<p>二次傾向線</p> $y = a + bx + cx^2$	<p>増加（減少）する曲線であり、増加（減少）する割合は、一定ではない。 推定式のパラメータは回帰式にて算定する。</p>	
<p>一次指数曲線</p> $y = a \cdot b^x$	<p>一定の割合で増加（減少）する曲線であり、係数は回帰式にて求める。 推定期間が長くなると、差が大きくなる傾向がある。 係数 b が 1 以上の場合は発散し、1 以下の場合は 0 に近づく。</p>	

2.2 各町村の推定将来人口と選定した回帰式を示す。

		広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	計
		等比級数	一次傾向	一次指数	二次傾向	一次傾向	一次指数	一次傾向	一次指数	—
将来人口 (仮)	R3 年度	4,638	6,620	12,071	2,519	10,078	5,682	16,092	1,363	59,063
	R4 年度	4,578	6,509	11,814	2,490	9,970	5,597	15,665	1,346	57,969
	R5 年度	4,519	6,398	11,562	2,463	9,861	5,513	15,238	1,330	56,884
	R6 年度	4,461	6,287	11,316	2,438	9,752	5,431	14,811	1,314	55,810
	R7 年度	4,404	6,176	11,075	2,414	9,643	5,350	14,384	1,298	54,744
	R8 年度	4,348	6,065	10,839	2,392	9,535	5,270	13,957	1,283	53,689
	R9 年度	4,292	5,954	10,609	2,371	9,426	5,192	13,530	1,267	52,641
	R10 年度	4,237	5,843	10,383	2,353	9,317	5,114	13,103	1,252	51,602
	R11 年度	4,183	5,732	10,162	2,336	9,209	5,038	12,676	1,237	50,573
	R12 年度	4,129	5,621	9,945	2,321	9,100	4,963	12,249	1,222	49,550
	R13 年度	4,076	5,511	9,734	2,308	8,991	4,889	11,822	1,208	48,539
	R14 年度	4,024	5,400	9,526	2,296	8,883	4,816	11,395	1,193	47,533
	R15 年度	3,972	5,289	9,323	2,286	8,774	4,744	10,968	1,179	46,535
	R16 年度	3,921	5,178	9,125	2,278	8,665	4,673	10,541	1,165	45,546
	R17 年度	3,871	5,067	8,931	2,272	8,557	4,603	10,114	1,151	44,566
	R18 年度	3,821	4,956	8,740	2,267	8,448	4,534	9,687	1,137	43,590

2.1 広野町将来人口

年度	実績
H23	5,277
H24	5,208
H25	5,151
H26	5,118
H27	5,068
H28	4,935
H29	4,820
H30	4,735
R1	4,755
R2	4,698

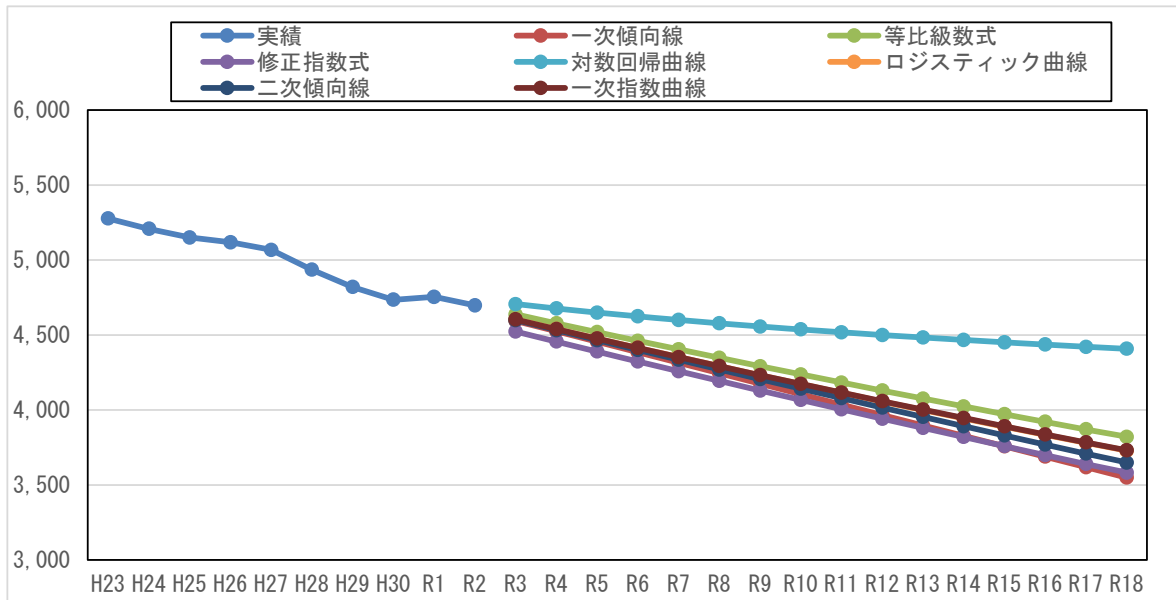
ほとんどの回帰式の相関係数(R2)が0.966である。すべての回帰式が、人口減少傾向となっている中、減少幅が中間程度となっている、等比級数式を選択した。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

適応範囲外

年度	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	4,594	4,638	4,524	4,706	4,604	4,599	4,604
R4	4,524	4,578	4,456	4,677	4,539	4,532	4,540
R5	4,454	4,519	4,390	4,649	4,476	4,466	4,477
R6	4,385	4,461	4,324	4,624	4,414	4,400	4,414
R7	4,315	4,404	4,259	4,600	4,352	4,335	4,353
R8	4,245	4,348	4,194	4,578	4,291	4,270	4,292
R9	4,176	4,292	4,130	4,557	4,232	4,206	4,233
R10	4,106	4,237	4,067	4,537	4,172	4,142	4,174
R11	4,036	4,183	4,004	4,518	4,114	4,079	4,116
R12	3,967	4,129	3,942	4,500	4,057	4,016	4,059
R13	3,897	4,076	3,881	4,483	4,000	3,953	4,002
R14	3,828	4,024	3,820	4,467	3,944	3,892	3,947
R15	3,758	3,972	3,760	4,451	3,889	3,830	3,892
R16	3,688	3,921	3,700	4,436	3,835	3,769	3,838
R17	3,619	3,871	3,641	4,422	3,781	3,709	3,784
R18	3,549	3,821	3,582	4,408	3,728	3,649	3,732

a	-69.6		-7,577.7	5,277.0	3.6	4,974.5	
b	5,289.8		0.99	0.0	-0.01	-69.6	4,972.3
c						0.2	1.0
K, H			-2,344.8		206,429.0		
r		0.0					
A				61.3			
R	0.983	0.983	0.983	0.952	0.983	0.983	0.983
R2	0.966	0.966	0.966	0.906	0.966	0.966	0.966



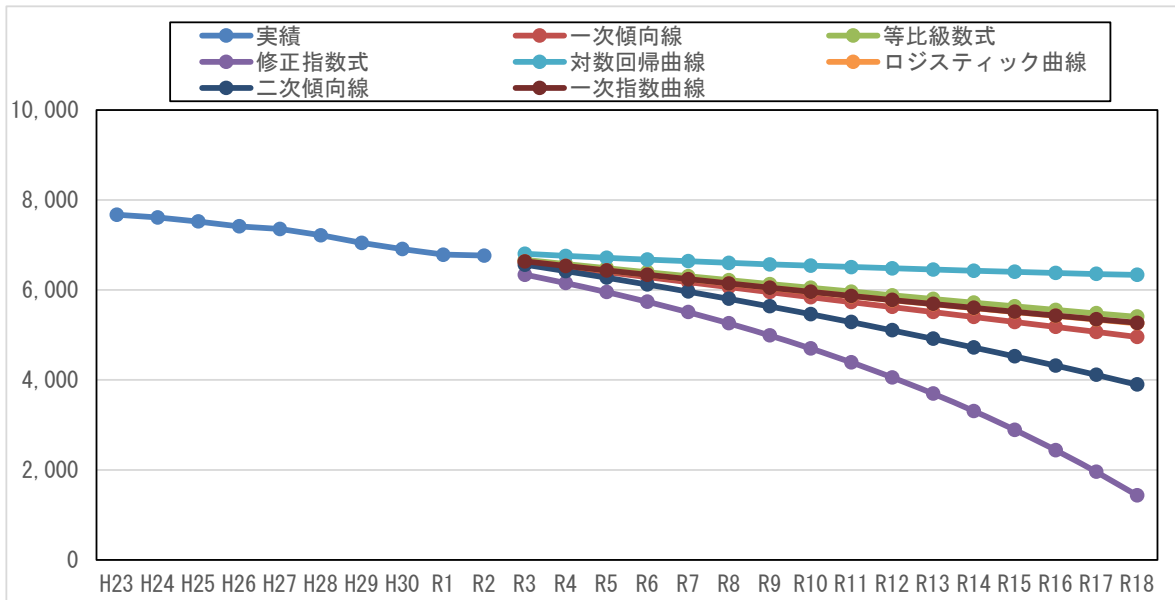
2.2 檜葉町将来人口

年度	実績
H23	7,674
H24	7,613
H25	7,523
H26	7,415
H27	7,357
H28	7,215
H29	7,047
H30	6,908
R1	6,784
R2	6,765

相関係数(R2)が1に近いのは、一次傾向線、二次傾向線である。しかし、二次傾向線は人口減少傾向が大きすぎるため、一次傾向線を選択した。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

年度	適応範囲外				適応範囲外		
	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	6,620	6,671	6,340	6,805	6,636	6,564	6,636
R4	6,509	6,578	6,155	6,759	6,534	6,422	6,535
R5	6,398	6,487	5,955	6,716	6,434	6,275	6,435
R6	6,287	6,396	5,739	6,676	6,335	6,123	6,337
R7	6,176	6,307	5,508	6,639	6,238	5,966	6,240
R8	6,065	6,220	5,258	6,604	6,142	5,804	6,145
R9	5,954	6,133	4,990	6,570	6,048	5,636	6,051
R10	5,843	6,048	4,701	6,539	5,955	5,464	5,958
R11	5,732	5,964	4,390	6,509	5,863	5,286	5,867
R12	5,621	5,881	4,056	6,481	5,773	5,103	5,778
R13	5,511	5,799	3,696	6,454	5,684	4,916	5,689
R14	5,400	5,718	3,308	6,429	5,597	4,723	5,603
R15	5,289	5,639	2,891	6,404	5,511	4,524	5,517
R16	5,178	5,560	2,442	6,380	5,426	4,321	5,433
R17	5,067	5,483	1,959	6,358	5,342	4,113	5,350
R18	4,956	5,407	1,439	6,336	5,260	3,899	5,268
a	-110.9		1,167.5	8,242.7	3.2	7,251.3	
b	7,729.3		1.1	-578.6	-0.02	-110.9	7,222.9
c						-2.6	1.0
K, H			8,775.9		206,429.0		
r		0.0					
A				61.6			
R	0.992	0.990	0.992	0.947	0.990	0.992	0.990
R2	0.983	0.981	0.985	0.897	0.981	0.984	0.981



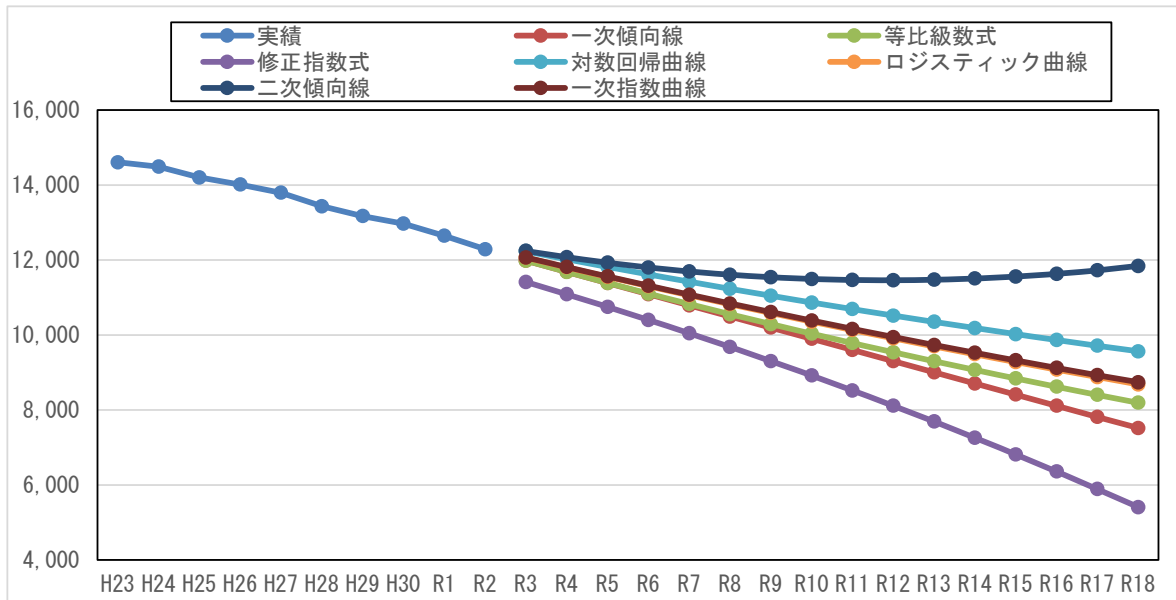
2.3 富岡町将来人口

年度	実績
H23	14,608
H24	14,489
H25	14,202
H26	14,012
H27	13,795
H28	13,437
H29	13,172
H30	12,972
R1	12,645
R2	12,289

相関係数 (R2) が最も 1 に近い
一次傾向線は、人口減少傾向が
強い。そのため、次いで R2 が
1 に近い一次指数曲線を選択し
た。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

年度	適応範囲外				適応範囲外		
	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	11,982	11,982	11,415	12,235	12,065	12,243	12,071
R4	11,685	11,682	11,087	12,023	11,806	12,076	11,814
R5	11,387	11,390	10,751	11,817	11,552	11,929	11,562
R6	11,089	11,105	10,405	11,617	11,303	11,802	11,316
R7	10,792	10,828	10,049	11,422	11,059	11,694	11,075
R8	10,494	10,557	9,683	11,232	10,820	11,607	10,839
R9	10,196	10,293	9,307	11,047	10,586	11,541	10,609
R10	9,899	10,036	8,920	10,866	10,356	11,494	10,383
R11	9,601	9,785	8,522	10,690	10,132	11,467	10,162
R12	9,303	9,540	8,114	10,518	9,912	11,460	9,945
R13	9,006	9,302	7,694	10,350	9,697	11,473	9,734
R14	8,708	9,069	7,262	10,186	9,486	11,507	9,526
R15	8,410	8,842	6,818	10,025	9,279	11,560	9,323
R16	8,113	8,621	6,361	9,868	9,077	11,634	9,125
R17	7,815	8,406	5,892	9,714	8,879	11,727	8,931
R18	7,517	8,195	5,409	9,563	8,685	11,841	8,740
a	-297.7		8,609.4	38,012.6	2.5	13,668.0	
b	15,256.6		1.03	-7,310.1	-0.02	-297.7	13,734.9
c						10.0	1.0
K, H			23,087.6		206,429.0		
r		0.0					
A				1,037.7			
R	0.996	0.993	0.998	0.992	0.994	0.991	0.994
R2	0.992	0.986	0.996	0.984	0.988	0.982	0.987



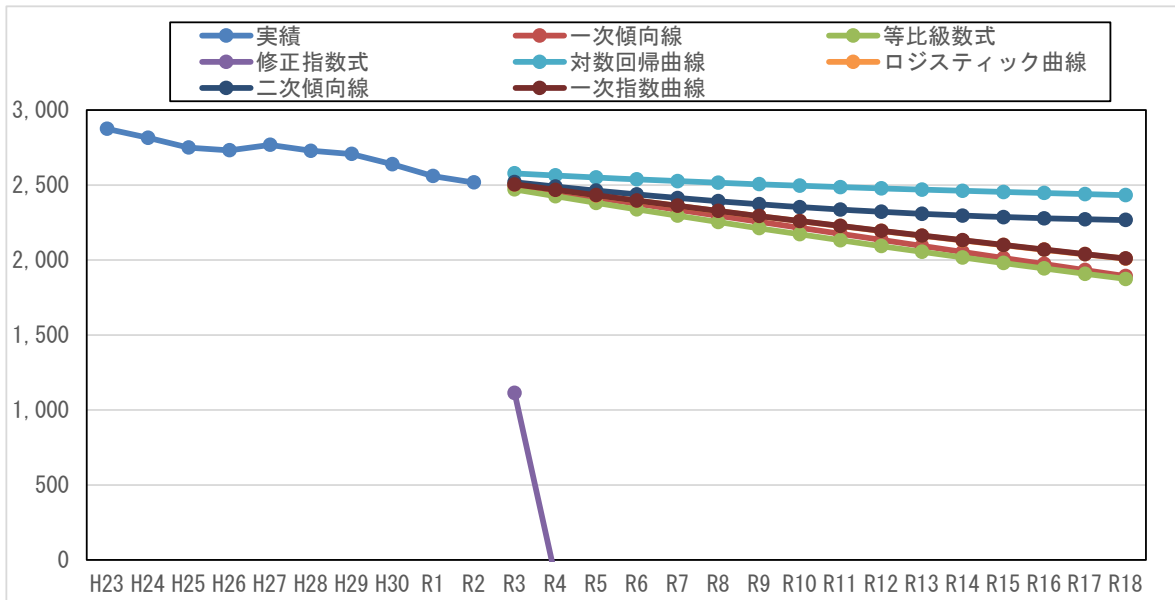
2.4 川内村将来人口

年度	実績
H23	2,875
H24	2,815
H25	2,750
H26	2,732
H27	2,768
H28	2,729
H29	2,707
H30	2,639
R1	2,560
R2	2,517

相関係数 (R2) が 1 に近い一次傾向線、一次指数曲線、等比級数式は人口の落ち込みが大きいため、人口の落ち込みが緩やかな二次傾向線を選択した。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

年度	適応範囲外				適応範囲外		
	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	2,497	2,471	1,114	2,578	2,504	2,519	2,504
R4	2,456	2,426	-110	2,563	2,468	2,490	2,468
R5	2,416	2,381	-2,237	2,550	2,432	2,463	2,432
R6	2,376	2,338	-5,934	2,538	2,396	2,438	2,397
R7	2,336	2,295	-12,357	2,526	2,361	2,414	2,362
R8	2,295	2,253	-23,518	2,515	2,327	2,392	2,327
R9	2,255	2,212	-42,913	2,505	2,293	2,371	2,294
R10	2,215	2,172	-76,617	2,496	2,260	2,353	2,260
R11	2,175	2,132	-135,184	2,486	2,227	2,336	2,227
R12	2,134	2,093	-236,958	2,478	2,194	2,321	2,195
R13	2,094	2,055	-413,811	2,469	2,162	2,308	2,163
R14	2,054	2,017	-721,132	2,461	2,131	2,296	2,131
R15	2,014	1,980	-1,255,168	2,454	2,099	2,286	2,100
R16	1,973	1,944	-2,183,172	2,447	2,069	2,278	2,070
R17	1,933	1,908	-3,795,780	2,439	2,039	2,272	2,040
R18	1,893	1,874	-6,598,036	2,433	2,009	2,267	2,010
a	-40.2		3.8	3,022.3	4.2	2,729.4	
b	2,939.3		1.7	-178.9	-0.01	-40.2	2,734.8
c						0.9	1.0
K, H			2,773.0		206,429.0		
r		0.0					
A				149.9			
R	0.947	0.943	0.910	0.902	0.944	0.940	0.944
R2	0.897	0.890	0.828	0.813	0.891	0.884	0.891



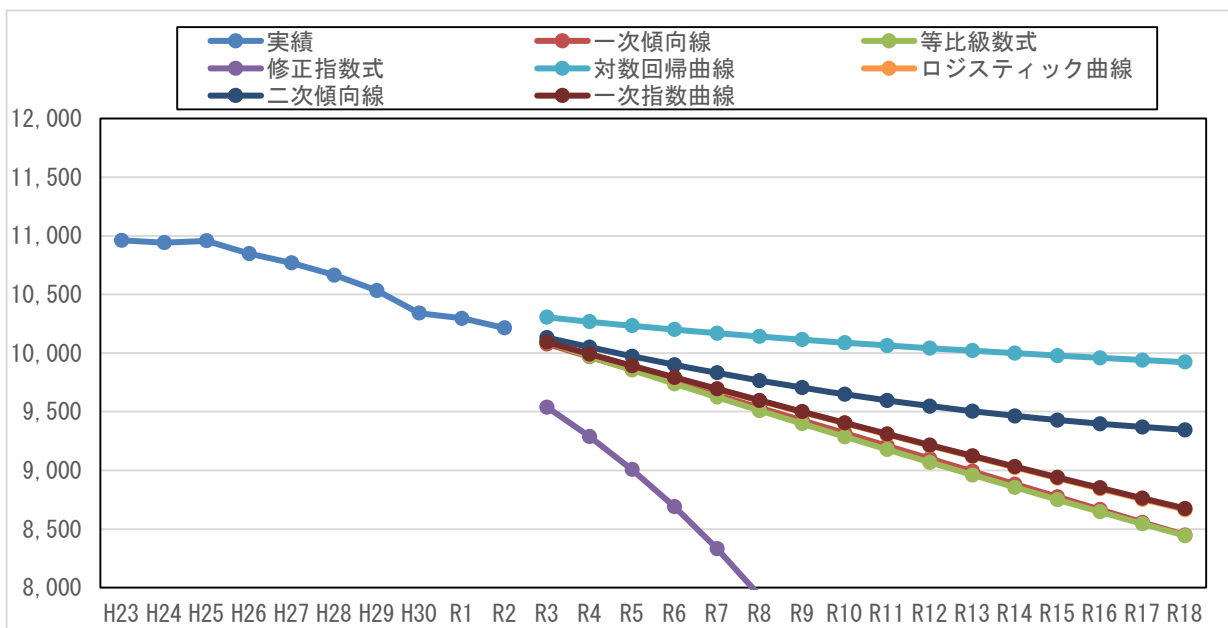
2.5 大熊町将来人口

年度	実績
H23	10,962
H24	10,942
H25	10,958
H26	10,849
H27	10,769
H28	10,665
H29	10,533
H30	10,341
R1	10,296
R2	10,214

相関係数 (R2) が最も 1 に近い
一次傾向線を選択した。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

年度	適応範囲外				適応範囲外		
	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	10,078	10,093	9,539	10,306	10,093	10,132	10,094
R4	9,970	9,974	9,289	10,268	9,991	10,051	9,992
R5	9,861	9,856	9,007	10,233	9,890	9,973	9,892
R6	9,752	9,739	8,690	10,201	9,790	9,900	9,792
R7	9,643	9,624	8,333	10,170	9,691	9,831	9,694
R8	9,535	9,510	7,931	10,141	9,593	9,766	9,596
R9	9,426	9,397	7,478	10,114	9,496	9,705	9,500
R10	9,317	9,286	6,969	10,089	9,400	9,649	9,404
R11	9,209	9,176	6,395	10,065	9,305	9,596	9,310
R12	9,100	9,068	5,749	10,042	9,211	9,548	9,216
R13	8,991	8,961	5,022	10,020	9,117	9,504	9,123
R14	8,883	8,855	4,203	9,999	9,025	9,464	9,032
R15	8,774	8,750	3,281	9,979	8,933	9,428	8,941
R16	8,665	8,646	2,244	9,959	8,843	9,397	8,851
R17	8,557	8,544	1,075	9,941	8,753	9,369	8,762
R18	8,448	8,443	-240	9,923	8,664	9,346	8,674
a	-108.7		539.5	11,479.5	2.9	10,709.5	
b	11,273.8		1.1	-472.3	-0.01	-108.7	10,724.4
c						2.1	1.0
K, H			11,526.6		206,429.0		
r		0.0					
A				430.4			
R	0.974	0.972	0.986	0.904	0.972	0.968	0.972
R2	0.950	0.944	0.973	0.816	0.946	0.937	0.945



2.6 双葉町将来人口

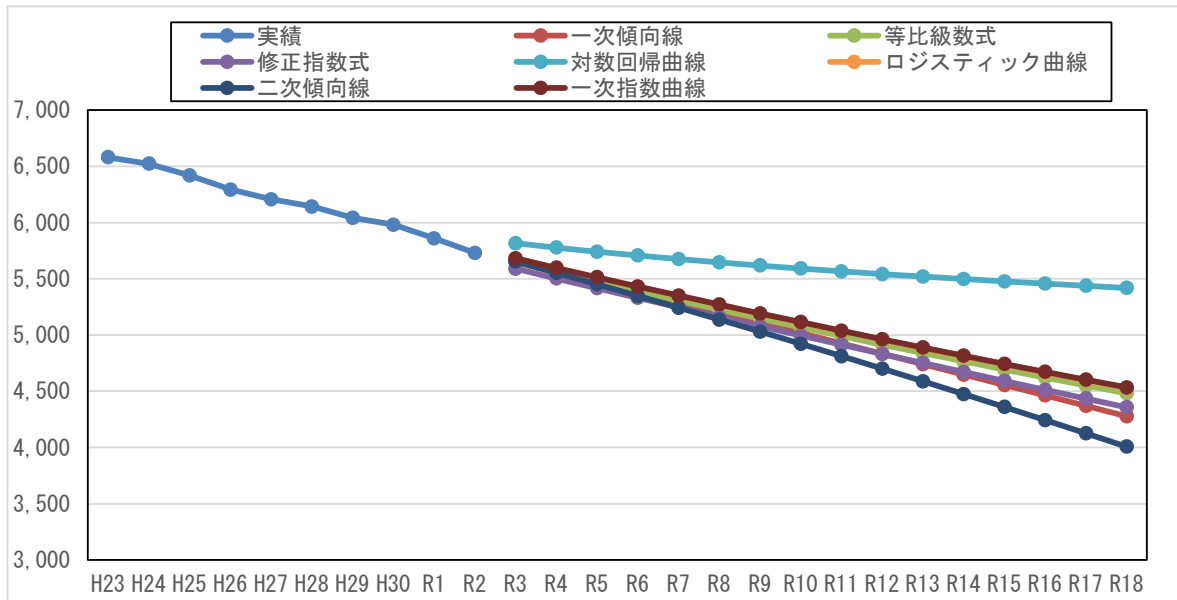
年度	実績
H23	6,580
H24	6,523
H25	6,418
H26	6,293
H27	6,207
H28	6,142
H29	6,042
H30	5,980
R1	5,860
R2	5,730

ほとんどの回帰式の相関係数(R2)が0.994-0.995である。すべての回帰式が、人口減少傾向となっている中、減少幅が中間程度となっている、一次指数曲線式を選択した。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

適応範囲外

年度	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	5,668	5,643	5,590	5,817	5,681	5,653	5,682
R4	5,575	5,557	5,503	5,778	5,596	5,553	5,597
R5	5,482	5,472	5,416	5,741	5,513	5,451	5,513
R6	5,389	5,388	5,330	5,707	5,430	5,347	5,431
R7	5,297	5,306	5,245	5,676	5,349	5,243	5,350
R8	5,204	5,225	5,161	5,646	5,269	5,137	5,270
R9	5,111	5,146	5,078	5,618	5,190	5,030	5,192
R10	5,018	5,067	4,995	5,591	5,112	4,922	5,114
R11	4,926	4,990	4,913	5,566	5,035	4,812	5,038
R12	4,833	4,914	4,831	5,542	4,959	4,701	4,963
R13	4,740	4,839	4,751	5,519	4,885	4,588	4,889
R14	4,648	4,765	4,671	5,498	4,812	4,475	4,816
R15	4,555	4,692	4,592	5,477	4,739	4,360	4,744
R16	4,462	4,621	4,513	5,457	4,668	4,243	4,673
R17	4,369	4,550	4,435	5,437	4,598	4,126	4,603
R18	4,277	4,481	4,358	5,419	4,529	4,007	4,534
a	-92.7		-10,862.5	7,036.6	3.4	6,182.9	
b	6,594.7		1.0	-490.8	-0.02	-92.7	6,171.7
c						-0.7	1.0
K, H			-4,356.1		206,429.0		
r		0.0					
A				66.7			
R	0.997	0.997	0.997	0.967	0.997	0.997	0.997
R2	0.995	0.994	0.994	0.935	0.994	0.995	0.994



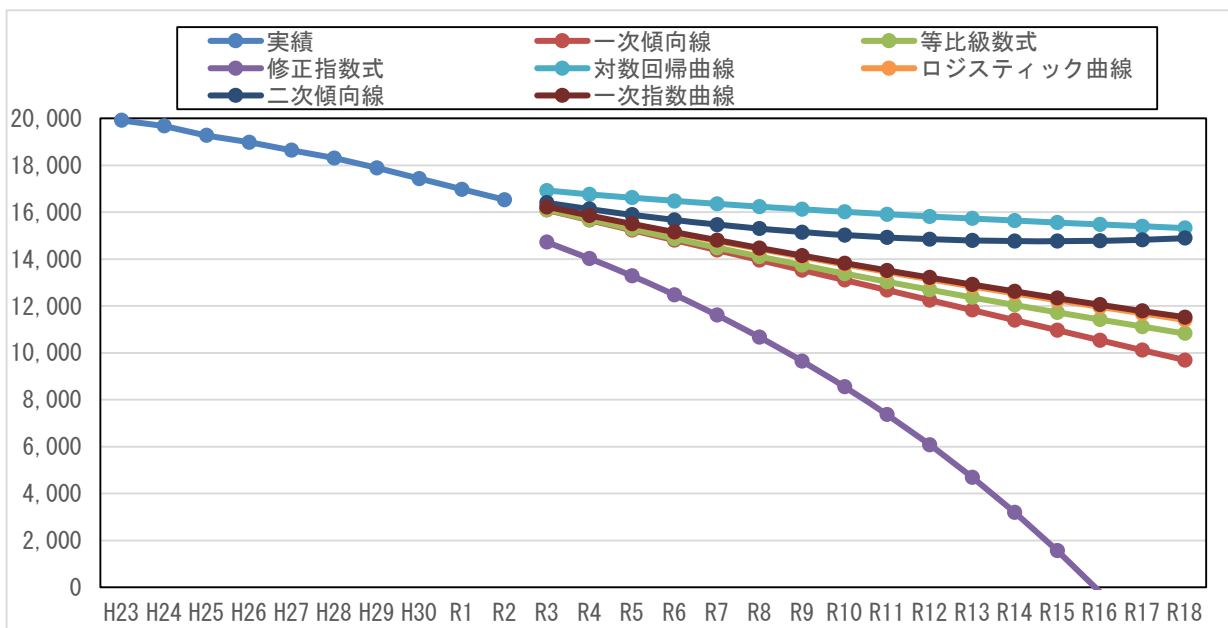
2.7 浪江町将来人口

年度	実績
H23	19,921
H24	19,680
H25	19,275
H26	18,982
H27	18,644
H28	18,309
H29	17,896
H30	17,434
R1	16,978
R2	16,536

相関係数 (R2) が最も 1 に近い
一次傾向線を選択した。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

年度	適応範囲外				適応範囲外		
	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	16,092	16,104	14,719	16,921	16,212	16,406	16,224
R4	15,665	15,684	14,030	16,764	15,841	16,136	15,858
R5	15,238	15,275	13,285	16,618	15,478	15,891	15,500
R6	14,811	14,876	12,480	16,482	15,123	15,669	15,150
R7	14,384	14,488	11,610	16,355	14,775	15,471	14,808
R8	13,957	14,110	10,669	16,236	14,434	15,298	14,474
R9	13,530	13,741	9,652	16,124	14,101	15,149	14,148
R10	13,103	13,383	8,552	16,018	13,775	15,024	13,829
R11	12,676	13,033	7,364	15,917	13,456	14,923	13,517
R12	12,249	12,693	6,079	15,821	13,144	14,846	13,212
R13	11,822	12,362	4,690	15,729	12,838	14,794	12,914
R14	11,395	12,039	3,189	15,642	12,539	14,766	12,623
R15	10,968	11,725	1,566	15,558	12,247	14,761	12,338
R16	10,541	11,419	-189	15,478	11,961	14,781	12,059
R17	10,114	11,121	-2,086	15,401	11,681	14,825	11,787
R18	9,687	10,831	-4,136	15,327	11,408	14,894	11,522
a	-427.0		3,609.4	21,806.7	2.2	18,533.5	
b	20,789.3		1.1	-1,966.1	-0.03	-427.0	18,603.9
c						12.1	1.0
K, H			23,222.0		206,429.0		
r		0.0					
A				1,397.5			
R	0.997	0.993	0.999	0.952	0.994	0.992	0.994
R2	0.993	0.987	0.999	0.907	0.988	0.984	0.988



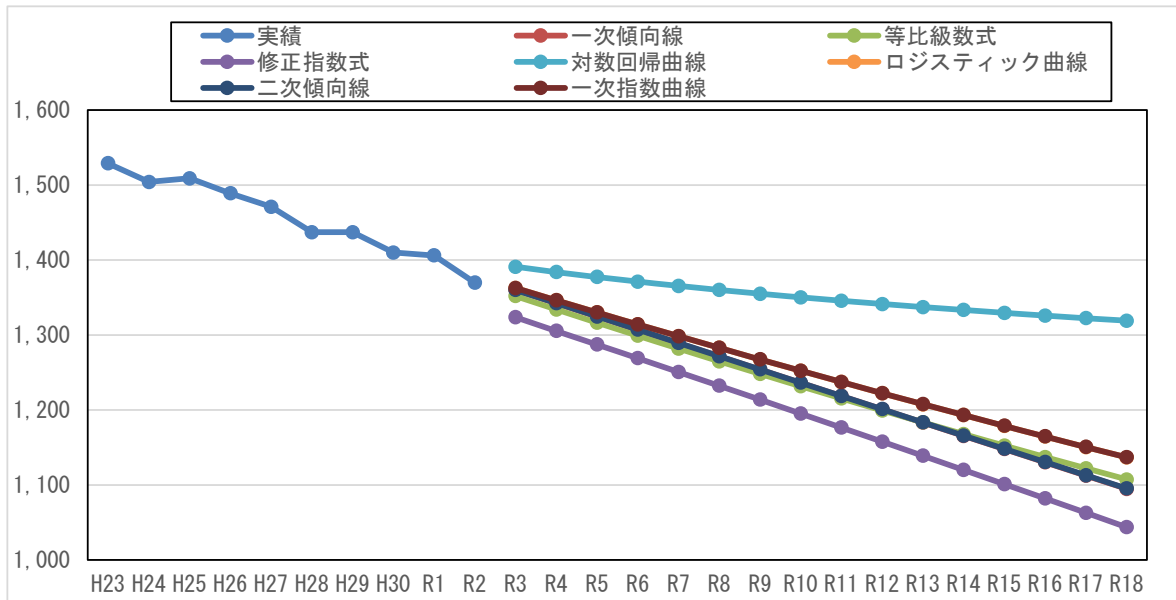
2.8 葛尾村将来人口

年度	実績
H23	1,529
H24	1,504
H25	1,509
H26	1,489
H27	1,471
H28	1,437
H29	1,437
H30	1,410
R1	1,406
R2	1,370

相関係数 (R2) が 1 に近い一次傾向線、二次傾向線、等比級数式は人口の落ち込みが大きいため、人口の落ち込みが緩やかな一次指数曲線を選択した。

一次傾向線	$y=ax+b$
等比級数式	$y=y_0(1+r)^x$
修正指数式	$y=K-ab^x$
対数回帰曲線	$y=a+b \ln(x+1)$
ロジスティック曲線	$y=K/(1+e^{-(a-bx)})$
二次傾向線	$y=a+bx+cx^2$
一次指数曲線	$y=a \cdot bx$

年度	適応範囲外				適応範囲外		
	一次傾向線	等比級数式	修正指数式	対数回帰曲線	ロジスティック曲線	二次傾向線	一次指数曲線
R3	1,360	1,352	1,324	1,391	1,363	1,360	1,363
R4	1,342	1,334	1,306	1,384	1,346	1,342	1,346
R5	1,325	1,316	1,287	1,377	1,330	1,325	1,330
R6	1,307	1,299	1,269	1,371	1,314	1,307	1,314
R7	1,289	1,282	1,251	1,365	1,298	1,289	1,298
R8	1,272	1,265	1,232	1,360	1,283	1,272	1,283
R9	1,254	1,248	1,214	1,355	1,267	1,254	1,267
R10	1,236	1,232	1,195	1,350	1,252	1,236	1,252
R11	1,219	1,215	1,177	1,346	1,237	1,219	1,237
R12	1,201	1,199	1,158	1,341	1,222	1,201	1,222
R13	1,183	1,183	1,139	1,337	1,208	1,183	1,208
R14	1,166	1,168	1,120	1,333	1,193	1,166	1,193
R15	1,148	1,152	1,101	1,329	1,179	1,148	1,179
R16	1,130	1,137	1,082	1,326	1,165	1,131	1,165
R17	1,112	1,122	1,063	1,322	1,151	1,113	1,151
R18	1,095	1,107	1,044	1,319	1,137	1,095	1,137
a	-17.7		4,090.8	1,611.6	4.9	1,466.1	
b	1,554.5		1.004	-88.8	-0.01	-17.7	1,465.0
c						0.0	1.0
K, H			5,608.8		206,429.0		
r		0.0					
A				32.4			
R	0.986	0.984	0.986	0.944	0.985	0.986	0.985
R2	0.971	0.969	0.972	0.890	0.969	0.971	0.969



3. 将来人口の補正

将来人口の補正は各町村の状況により数パターンに分類して作業を行った。

(パターンA)

避難指示区域がほとんど解除され、少しずつではあるが、かつての住民が帰還してきている状況。解除から20年ではほぼ帰還希望者が戻ってきていると想定。

(広野町、檜葉町、川内村)

(パターンB)

避難指示区域の一部が解除され、かつての住民が帰還している状況。解除されている部分については、パターンAと同様。

一方で町村内に帰還困難区域を抱え、区域解除に向けた復興再生構想等が策定されており、多くの場合、設定年度と居住人数が定められている。将来人口の補正では計画通り進んだ場合を想定。

※また、居住者数と帰還者数が別に挙げられている町村があるが、その差は作業労働者として補正した。

(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村)

3.1 広野町の状況

- ・平成 23 年 9 月の避難指示区域解除から、9 年経過しており、帰還率は 90%となっている。
- ・住基なし住民が 2,000 人（除染、廃炉作業従事者）ほどいる。これからの除染、廃炉作業を考えると急激に減ることはない想定。
- ・帰還希望アンケートなし

	年度	住基人口 ①	町村内		住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤ (③+④)	帰還率 (③/①)	
			町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③				
実績	H22年度	5,458				0		
	H23年度	5,277				0		
	H24年度	5,208	4,253	955		955	1年目	18%
	H25年度	5,151	3,670	1,481		1,481	2年目	30%
	H26年度	5,118	3,011	2,107		2,107	3年目	40%
	H27年度	5,068	2,375	2,693		2,693	4年目	50%
	H28年度	4,935	1,047	3,888		3,888	5年目	70%
	H29年度	4,820	766	4,054		4,054	6年目	85%
	H30年度	4,735	618	4,117	2,169	6,286	7年目	87%
	R1年度	4,755	539	4,216	2,738	6,954	8年目	89%
	R2年度	4,698	472	4,226	2,165	6,391	9年目	90%
推計	R3年度	4,638	417	4,220	2,000	6,220	10年目	91%
	R4年度	4,578	412	4,166	2,000	6,166	11年目	91%
	R5年度	4,519	362	4,158	2,000	6,158	12年目	92%
	R6年度	4,461	357	4,105	2,000	6,105	13年目	92%
	R7年度	4,404	352	4,052	2,000	6,052	14年目	92%
	R8年度	4,348	304	4,043	2,000	6,043	15年目	93%
	R9年度	4,292	300	3,992	2,000	5,992	16年目	93%
	R10年度	4,237	297	3,940	2,000	5,940	17年目	93%
	R11年度	4,183	293	3,890	2,000	5,890	18年目	93%
	R12年度	4,129	289	3,840	2,000	5,840	19年目	93%
	R13年度	4,076	245	3,831	2,000	5,831	20年目	94%
	R14年度	4,024	241	3,782	2,000	5,782	21年目	94%
	R15年度	3,972	238	3,734	2,000	5,734	22年目	94%
	R16年度	3,921	196	3,725	2,000	5,725	23年目	95%
	R17年度	3,871	194	3,677	2,000	5,677	24年目	95%
	R18年度	3,821	191	3,630	2,000	5,630	25年目	95%

90%という高い帰還率にも関わらず、ここ数年の間も帰還者が増えていることから、もう数%上昇すると想定した。

3.2 檜葉町の状況

平成 24 年の避難指示区域解除から、5 年経過しており、帰還率は 60%になっている

- ・帰還希望者 72.5% (平成 29 年 アンケート)
- ・避難解除から 20 年で、帰還希望者のほぼ全員が帰還すると想定。

	年度	住基人口 ①	町村内		住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤ (③+④)	帰還率 (③/①)	
			町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③				
実績	H22年度	8,011				0		
	H23年度	7,674				0		
	H24年度	7,613				0		
	H25年度	7,523				0		
	H26年度	7,415				0		
	H27年度	7,357				0		
	H28年度	7,215				1,508	1年目	21%
	H29年度	7,047				2,929	2年目	42%
	H30年度	6,908				3,678	3年目	53%
	R1年度	6,784				3,937	4年目	58%
	R2年度	6,765				4,080	5年目	60%
推定	R3年度	6,620				4,104	6年目	62%
	R4年度	6,509				4,101	7年目	63%
	R5年度	6,398				4,095	8年目	64%
	R6年度	6,287				4,087	9年目	65%
	R7年度	6,176				4,076	10年目	66%
	R8年度	6,065				4,064	11年目	67%
	R9年度	5,954				4,049	12年目	68%
	R10年度	5,843				4,032	13年目	69%
	R11年度	5,732				4,013	14年目	70%
	R12年度	5,621				3,935	15年目	70%
	R13年度	5,511				3,912	16年目	71%
	R14年度	5,400				3,834	17年目	71%
	R15年度	5,289				3,808	18年目	72.0%
	R16年度	5,178				3,728	19年目	72.0%
	R17年度	5,067				3,673	20年目	72.5%
	R18年度	4,956				3,593	21年目	72.5%

避難解除から 20 年で
帰還希望者のほぼ全員
が帰還すると想定し
た。

3.3 富岡町の状況

- ・平成 29 年の居住制限区域、避難指示解除準備区域解除から 4 年経過しているが、帰還率は約 15% である。
 - ・現在も一部帰還困難区域がある。
 - ・帰還希望者 50% (令和 2 年 アンケート)
 - ・避難解除から 10 年で、帰還希望者のほぼ全員が帰還すると想定。
 - ・「富岡町帰還困難区域再生構想」(平成 29 年 12 月 富岡町)によると、帰還困難区域には 4,800 人、約 30%の人が住んでいた。
- 富岡町では解除された 70%と帰還困難区域の 30%を分けて考える。
- ・「富岡町災害復興計画 (第二次) 後期」によると、令和 6 年度の町内住居者 5,000 人を目標

①解除済区域 (70%)

	年度	住基人口 ①	住基なし 居住者 ④		町村内 居住者数 ⑤ (③+④)		帰還率	
			町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③				
実績	H22年度	11,081	0	11,081				
	H23年度	10,226	10,226	0				
	H24年度	10,142	10,142	0				
	H25年度	9,941	9,941	0				
	H26年度	9,808	9,808	0				
	H27年度	9,657	9,657	0				
	H28年度	9,406	9,406	0				
	H29年度	9,220	8,659	561	600	1,161	1年目	6%
	H30年度	9,080	8,203	877	600	1,477	2年目	9%
	R1年度	8,852	7,640	1,212	600	1,812	3年目	12%
	R2年度	8,602	7,017	1,585	600	2,185	4年目	15%
	推定	R3年度	8,450		2,197	600	2,797	5年目
R4年度		8,270		2,812	600	3,412	6年目	34%
R5年度		8,094		3,642	600	4,242	7年目	45%
R6年度		7,921		3,881	600	4,481	8年目	49%
R7年度		7,753		3,799	600	4,399	9年目	49%
R8年度		7,588		3,794	600	4,394	10年目	50%
R9年度		7,426		3,713	600	4,313	11年目	50%
R10年度		7,268		3,634	600	4,234	12年目	50%
R11年度		7,113		3,557	600	4,157	13年目	50%
R12年度		6,962		3,481	600	4,081	14年目	50%
R13年度		6,813		3,407	600	4,007	15年目	50%
R14年度		6,668		3,334	600	3,934	16年目	50%
R15年度		6,526		3,263	600	3,863	17年目	50%
R16年度		6,387		3,194	600	3,794	18年目	50%
R17年度		6,251		3,126	600	3,726	19年目	50%
R18年度		6,118		3,059	600	3,659	20年目	50%

※帰還希望を50%と設定

避難解除から 10 年で
帰還希望者のほぼ全員
が帰還すると想定し
た。

②帰還困難区域(30%)

「富岡町帰還困難区域再生構想」(平成 29 年 12 月 富岡町)

第 1 期整備
 帰還困難区域のうち特定復興再生拠点区域(390ha)の認定を受けている。区域内人口 45%を令和 4 年までに帰還者等の居住を目指す。

第 2 期整備
 令和 9 年度までに帰還困難区域内全体の避難指示解除を目指す。(人口割合 55%)

①帰還困難区域 (30%)

	年度	住基人口 推定 ①	第1期整備 (45%)		第2期整備 (55%)		町村内 居住者数 ④(②+③)		
			居住者②	帰還率	居住者③	帰還率			
実績	H22年度	4,749							
	H23年度	4,382							
	H24年度	4,347							
	H25年度	4,261							
	H26年度	4,204							
	H27年度	4,138							
	H28年度	4,031							
	H29年度	3,952							
	H30年度	3,892							
	R1年度	3,793							
R2年度	3,687								
推定	R3年度	3,621							
	R4年度	3,544	第1期整備		第2期整備				
	R5年度	3,468	382	1年目	11%		382		
	R6年度	3,395	543	2年目	16%		543		
	R7年度	3,322	698	3年目	21%		698		
	R8年度	3,251	975	4年目	30%		975		
	R9年度	3,183	1,273	5年目	40%		1,273		
	R10年度	3,115	1,339	6年目	43%	343	1年目	11%	1,682
	R11年度	3,049	1,372	7年目	45%	587	2年目	16%	1,959
	R12年度	2,983	1,402	8年目	47%	623	3年目	21%	2,025
	R13年度	2,921	1,402	9年目	48%	642	4年目	30%	2,044
	R14年度	2,858	1,429	10年目	50%	660	5年目	40%	2,089
	R15年度	2,797	1,399	11年目	50%	677	6年目	43%	2,076
	R16年度	2,738	1,369	12年目	50%	693	7年目	45%	2,062
R17年度	2,680	1,340	13年目	50%	692	8年目	47%	2,032	
R18年度	2,622	1,311	14年目	50%	692	9年目	48%	2,003	

避難解除から10年で帰還希望者の
 のほぼ全員が帰還すると想定。

③ ①+② (全区域)

・「富岡町災害復興計画（第二次）後期」によると、令和6年度の町内住居者 5,000人を目標

	年度	住基人口 ①	町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③：A+B+C	避難解除区域	再生構想	再生構想	住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤(③+④)
					A	第一期 B	第二期 C		
実績	H22年度	15,830	0	11,081	11,081				11,081
	H23年度	14,608	14,608	0	0				0
	H24年度	14,489	14,489	0	0				0
	H25年度	14,202	14,202	0	0				0
	H26年度	14,012	14,012	0	0				0
	H27年度	13,795	13,795	0	0				0
	H28年度	13,437	13,437	0	0				0
	H29年度	13,172	12,606	561	561			600	1,161
	H30年度	12,972	12,091	877	877			600	1,477
	R1年度	12,645	11,422	1,212	1,212			600	1,812
R2年度	12,289	10,700	1,585	1,585			600	2,185	
推定	R3年度	12,071	9,874	2,197	2,197			600	2,797
	R4年度	11,814	9,002	2,812	2,812			600	3,412
	R5年度	11,562	7,538	4,024	3,642	382		600	4,624
	R6年度	11,316	6,892	4,424	3,881	543		600	5,024
	R7年度	11,075	6,578	4,497	3,799	698		600	5,097
	R8年度	10,839	6,070	4,769	3,794	975		600	5,369
	R9年度	10,609	5,623	4,986	3,713	1,273		600	5,586
	R10年度	10,383	5,067	5,316	3,634	1,339	343	600	5,916
	R11年度	10,162	4,646	5,516	3,557	1,372	587	600	6,116
	R12年度	9,945	4,439	5,506	3,481	1,402	623	600	6,106
	R13年度	9,734	4,283	5,451	3,407	1,402	642	600	6,051
	R14年度	9,526	4,103	5,423	3,334	1,429	660	600	6,023
	R15年度	9,323	3,984	5,339	3,263	1,399	677	600	5,939
	R16年度	9,125	3,869	5,256	3,194	1,369	693	600	5,856
	R17年度	8,931	3,773	5,158	3,126	1,340	692	600	5,758
	R18年度	8,740	3,678	5,062	3,059	1,311	692	600	5,662

3.4 川内村の状況

- ・平成 28 年の避難指示区域解除から、5 年経過しており、帰還率は約 80%になっている。
- ・帰還希望アンケートなし

	年度	住基人口 ①	避難者		住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤ (③+④)	帰還率 (③/①)	
			町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③				
実績	H22年度	3,027				0		
	H23年度	2,875				0		
	H24年度	2,815				0		
	H25年度	2,750				0		
	H26年度	2,732	1,141	1,591		1,591	1年目	58%
	H27年度	2,768	999	1,769		1,769	2年目	64%
	H28年度	2,729	817	1,912		1,912	3年目	70%
	H29年度	2,707	516	2,191		2,191	4年目	81%
	H30年度	2,639	503	2,136		2,136	5年目	81%
	R1年度	2,560	506	2,054		2,054	6年目	80%
	R2年度	2,517	466	2,051		2,051	7年目	81%
推計	R3年度	2,519				2,041	8年目	81%
	R4年度	2,490				2,017	9年目	81%
	R5年度	2,463				2,020	10年目	82%
	R6年度	2,438				1,999	11年目	82%
	R7年度	2,414				1,979	12年目	82%
	R8年度	2,392				1,985	13年目	83%
	R9年度	2,371				1,968	14年目	83%
	R10年度	2,353				1,953	15年目	83%
	R11年度	2,336				1,962	16年目	84%
	R12年度	2,321				1,950	17年目	84%
	R13年度	2,308				1,939	18年目	84%
	R14年度	2,296				1,929	19年目	84%
	R15年度	2,286				1,943	20年目	85%
	R16年度	2,278				1,936	21年目	85%
	R17年度	2,272				1,931	22年目	85%
	R18年度	2,267				1,927	23年目	85%

ここ数年の帰還率は、あまり伸びがないため、将来帰還率は微増と想定した。

3.5 大熊町の状況

- ・平成 24 年 12 月「帰還困難区域」、「居住制限区域」、「避難指示準備解除区域」に再編された。
- ・平成 31 年 4 月「居住制限区域」、「避難指示準備解除区域」の避難指示を解除した。
- ・令和 2 年 3 月大野駅周辺の「帰還困難区域」の避難指示を解除した。
- ・帰還希望者 40% (令和 2 年 アンケート)
- ・住基なし居住者 (除染、廃炉作業従事者) 約 1000 人は、しばらく定住と想定。

「特定復興再生拠点区域復興再生計画」(平成 29 年 10 月 大熊町)
 地区名：大熊駅を含む周辺 860ha
 帰還：令和 4 年春ごろまでに避難指示準備区域解除
 目標：令和 9 年 住居人数 2,600 人、うち帰還者 1,500 人)

	年度	住基人口 ①	町村		住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤(③+④)	帰還率 (③/①)	
			町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③				
実績	H22年度	11,505				0		
	H23年度	10,962				0		
	H24年度	10,942				0		
	H25年度	10,958				0		
	H26年度	10,849				0		
	H27年度	10,769				0		
	H28年度	10,665				0		
	H29年度	10,533				0		
	H30年度	10,341	10,341	0	0	0		
	R1年度	10,296	10,100	196	640	836		
R2年度	10,214	9,898	316	583	899	1 年目	6%	
推計	R3年度	10,078	9,524	554	1,100	1,654	2 年目	7%
	R4年度	9,970	9,272	698	1,100	1,798	3 年目	8%
	R5年度	9,861	9,072	789	1,100	1,889	4 年目	10%
	R6年度	9,752	8,777	975	1,100	2,075	5 年目	12%
	R7年度	9,643	8,486	1,157	1,100	2,257	6 年目	14%
	R8年度	9,535	8,200	1,335	1,100	2,435	7 年目	16%
	R9年度	9,426	7,926	1,500	1,100	2,600	8 年目	18%
	R10年度	9,317	7,640	1,677	1,100	2,777	9 年目	20%
	R11年度	9,209	7,367	1,842	1,100	2,942	10 年目	22%
	R12年度	9,100	7,098	2,002	1,100	3,102	11 年目	24%
	R13年度	8,991	6,833	2,158	1,100	3,258	12 年目	26%
	R14年度	8,883	6,573	2,309	1,100	3,409	13 年目	28%
	R15年度	8,774	6,317	2,457	1,100	3,557	14 年目	30%
	R16年度	8,665	6,066	2,600	1,100	3,700	15 年目	32%
	R17年度	8,557	5,818	2,738	1,100	3,838	16 年目	34%
	R18年度	8,448	5,576	2,872	1,100	3,972	17 年目	36%

「特定復興再生拠点区域復興再生計画」に合うよう調整した。

避難解除から 20 年で帰還希望者のほぼ全員が帰還すると想定した。
 帰還希望者 40%

3.6 双葉町の状況

- ・令和2年3月現在、「居住制限区域」、「避難指示準備解除区域」、「帰還困難区域」がある。
- ・帰還希望者 40%（令和2年 アンケート）

特定復興再生拠点区域復興再生計画(平成29年8月 双葉町)

令和元年度まで双葉町周辺の一部を避難指示解除

令和4年度まで 特定復興再生拠点区域全域で避難指示解除

目標：令和9年春住居人数 約2,000人、うち帰還者約1,400人

	年度	住基人口			住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤(③+④)	帰還率(③/①)	
		①	町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③				
実績	H22年度	6,939	6,939	0	0	0		
	H23年度	6,580	6,580	0	0	0		
	H24年度	6,523	6,523	0	0	0		
	H25年度	6,418	6,418	0	0	0		
	H26年度	6,293	6,293	0	0	0		
	H27年度	6,207	6,207	0	0	0		
	H28年度	6,142	6,142	0	0	0		
	H29年度	6,042	6,042	0	0	0		
	H30年度	5,980	5,980	0	0	0		
	R1年度	5,860	5,860	0	0	0		
	R2年度	5,730	5,730	0	0	0		
推計	R3年度	5,682	5,682	0	600	600		
	R4年度	5,597	5,597	0	600	600		
	R5年度	5,513	5,238	276	600	876	1年目	5%
	R6年度	5,431	4,888	543	600	1,143	2年目	10%
	R7年度	5,350	4,548	803	600	1,403	3年目	15%
	R8年度	5,270	4,216	1,054	600	1,654	4年目	20%
	R9年度	5,192	3,792	1,400	600	2,000	5年目	24%
	R10年度	5,114	3,784	1,330	600	1,930	6年目	26%
	R11年度	5,038	3,678	1,360	600	1,960	7年目	27%
	R12年度	4,963	3,573	1,390	600	1,990	8年目	28%
	R13年度	4,889	3,471	1,418	600	2,018	9年目	29%
	R14年度	4,816	3,371	1,445	600	2,045	10年目	30%
	R15年度	4,744	3,273	1,471	600	2,071	11年目	31%
	R16年度	4,673	3,178	1,495	600	2,095	12年目	32%
	R17年度	4,603	3,084	1,519	600	2,119	13年目	33%
	R18年度	4,534	2,993	1,542	600	2,142	14年目	34%

「特定復興再生拠点区域復興再生計画」に合うよう調整した。

避難解除から20年で帰還希望者のほぼ全員が帰還すると想定した。

3.7 浪江町の状況

- ・令和2年3月現在、「帰還困難区域」がある。
- ・帰還希望者 50% (令和2年 アンケート)

「浪江町特定復興再生拠点区域復興再生計画」(平成30年4月)

令和5年3月までに 室原地区、末森地区、津島地区の避難指示解除を目指す。

目標：令和5年3月 住居人数 1,500人、うち帰還者1,200人

	年度	住基人口 ①	町村内		住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤(③+④)	帰還率 (③/①)	
			町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③				
実績	H22年度	21,542	21,542	0	0	0		
	H23年度	19,921	19,921	0	0	0		
	H24年度	19,680	19,680	0	0	0		
	H25年度	19,275	19,275	0	0	0		
	H26年度	18,982	18,982	0	0	0		
	H27年度	18,644	18,644	0	0	0		
	H28年度	18,309	18,287	22		22		
	H29年度	17,896	17,538	358	273	631	1年目	2%
	H30年度	17,434	16,737	697	285	982	2年目	4%
	R1年度	16,978	15,959	1,019	395	1,414	3年目	6%
	R2年度	16,536	15,378	1,158	497	1,655	4年目	7%
	推計	R3年度	16,092	14,966	1,126	300	1,426	5年目
R4年度		15,665	14,569	1,097	300	1,397	6年目	7%
R5年度		15,238	14,038	1,200	300	1,500	7年目	8%
R6年度		14,811	13,175	1,636	300	1,936	8年目	9%
R7年度		14,384	12,354	2,030	300	2,330	9年目	10%
R8年度		13,957	11,554	2,403	300	2,703	10年目	11%
R9年度		13,530	10,917	2,614	300	2,914	11年目	12%
R10年度		13,103	10,432	2,671	300	2,971	12年目	13%
R11年度		12,676	9,955	2,721	300	3,021	13年目	14%
R12年度		12,249	9,355	2,894	300	3,194	14年目	15%
R13年度		11,822	8,769	3,054	300	3,354	15年目	16%
R14年度		11,395	8,196	3,199	300	3,499	16年目	17%
R15年度		10,968	7,513	3,455	300	3,755	17年目	18%
R16年度		10,541	6,850	3,691	300	3,991	18年目	19%
R17年度		10,114	6,104	4,010	300	4,310	19年目	21%
R18年度		9,687	5,579	4,108	300	4,408	20年目	21%

「特定復興再生拠点区域復興再生計画」に合うよう調整した。

浪江町特定復興再生拠点区域復興再生計画(平成30年)完了後も帰還困難区域が残るため、帰還希望者割合には達しない想定。復興再生計画では、室原地区、末森地区、島津地区の人口割合は未記載。

3.8 葛尾村の状況

- ・平成 28 年「帰還困難区域」を除き、避難指示解除。
- ・令和 2 年現在、村内北西部の一部に帰還困難区域がある。
- ・帰還希望アンケートなし

	年度	住基人口 ①		住基なし 居住者 ④	町村内 居住者数 ⑤ (③+④)	帰還率 (③/①)		
		町村外 避難者 ②	町村内 居住者 ③					
実績	H22年度	1,565			0			
	H23年度	1,529			0			
	H24年度	1,504			0			
	H25年度	1,509			0			
	H26年度	1,489			0			
	H27年度	1,471			0			
	H28年度	1,437	1,321	116	116	1年目	8%	
	H29年度	1,437	1,179	258	1	259	2年目	18%
	H30年度	1,410	1,045	365	2	367	3年目	26%
	R1年度	1,406	987	419	2	421	4年目	30%
	R2年度	1,370	931	431	3	434	5年目	31%
推計	R3年度	1,363	927	436	436	6年目	32%	
	R4年度	1,346	902	464	464	7年目	33%	
	R5年度	1,330	878	492	492	8年目	34%	
	R6年度	1,314	854	520	520	9年目	35%	
	R7年度	1,298	831	537	537	10年目	36%	
	R8年度	1,283	808	550	550	11年目	37%	
	R9年度	1,267	786	562	562	12年目	38%	
	R10年度	1,252	764	568	568	13年目	39%	
	R11年度	1,237	742	575	575	14年目	40%	
	R12年度	1,222	733	569	569	15年目	40%	
	R13年度	1,208	725	563	563	16年目	40%	
	R14年度	1,193	716	557	557	17年目	40%	
	R15年度	1,179	707	552	552	18年目	40%	
	R16年度	1,165	699	546	546	19年目	40%	
	R17年度	1,151	690	540	540	20年目	40%	
	R18年度	1,137	682	535	535	21年目	40%	

ここ数年の帰還率は、あまり伸びがないため、この後の帰還率は微増と想定した。

4. 将来人口まとめ

	年度	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	計
住居者推計値	R3 年度	6,220	4,104	2,797	2,041	1,654	600	1,426	436	19,278
	R4 年度	6,166	4,101	3,412	2,017	1,798	600	1,397	464	19,955
	R5 年度	6,158	4,095	4,624	2,020	1,889	876	1,500	492	21,654
	R6 年度	6,105	4,087	5,024	1,999	2,075	1,143	1,936	520	22,889
	R7 年度	6,052	4,076	5,097	1,979	2,257	1,403	2,330	537	23,731
	R8 年度	6,043	4,064	5,369	1,985	2,435	1,654	2,703	550	24,803
	R9 年度	5,992	4,049	5,586	1,968	2,600	2,000	2,914	562	25,671
	R10 年度	5,940	4,032	5,916	1,953	2,777	1,930	2,971	568	26,087
	R11 年度	5,890	4,013	6,116	1,962	2,942	1,960	3,021	575	26,479
	R12 年度	5,840	3,935	6,106	1,950	3,102	1,990	3,194	569	26,686
	R13 年度	5,831	3,912	6,051	1,939	3,258	2,018	3,354	563	26,926
	R14 年度	5,782	3,834	6,023	1,929	3,409	2,045	3,499	557	27,078
	R15 年度	5,734	3,808	5,939	1,943	3,557	2,071	3,755	552	27,359
	R16 年度	5,725	3,728	5,856	1,936	3,700	2,095	3,991	546	27,577
	R17 年度	5,677	3,673	5,758	1,931	3,838	2,119	4,310	540	27,846
R18 年度	5,630	3,593	5,662	1,927	3,972	2,142	4,408	535	27,869	